

保護者等向け 放課後等デイサービス評価表

公表日:

事業所名: 放課後等デイサービス 放課後等デイサービス とことこ戸塚
教室

対象人数(保護者)29人 回答者数13人 回収44.8%

チェック項目		はい	どちらとも いえない	いいえ	ご意見
環境・ 体制整備	① こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	10	6	4	人数が多すぎる曜日があり、「行きたくない曜日がある…」とすることがあります。
	② 職員の配置数は適切であると思いますか。	14	3	3	書類上は配置の説明を受けましたが、実際の場面を見たことがあまりないので判らないです。仕事の都合等で中々実際の活動場面を見学に行けないので申し訳ないです。 公園あそびの有無を判断する時などに、職員数を理由に活動が制限されることがあり、それが改善されたら嬉しい と話しています。
	③ 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	16	4		疲れた時に休憩出来るスペース等あるので良いと思います。
	④ 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	15	5		活動内容によっては、狭さを感じている様子です。
適切な 支援の 提供	⑤ こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	14	4	2	利用初期段階では大変有難いと思いました。 ただ、脳バランサーの結果等2023年以降教えてもらっていないので活用されているのか疑問です。 もしくは、もうやっていないのでしょうか。
	⑥ 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	15	4	1	当初は脳バランサーと体幹トレーニング等を中心と説明を受けた気がしたので、今は放課後の余暇活動が中心になっている印象です。
	⑦ こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画(個別支援計画)が作成されていると思いますか。	18	1	1	学習障害があり中学への進学が心配になってくる小学校高学年になるタイミングで抱える問題と合致するサービスではないと感じています。 ただ、本人にとって学校よりも安心出来る大切な居場所であることは間違いないので助かっており、スタッフの方々とても親切で暖かく見守ってくれているので本当に有難いと思っています。 こちらの要望に対して丁寧に対応して下さい、それは本人も判っていると思います。 学校に登校出来なくても行きたいと言ってくれるのは本人にとって安心出来る場所だからだと思っています。
	⑧ 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	16	3	1	
	⑨ 放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	17	3		
	⑩ 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	20			
	⑪ 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	5	7	8	コロナの影響もあったと思いますが、ないような。

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	ご意見
保護者への説明等	⑫ 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	20			最初に契約する際に丁寧に頂きました。
	⑬ 「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	18	1	1	
	⑭ 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	6	9	5	
	⑮ 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	19	1		スタッフの方が丁寧にその日の活動状況を説明して下さるので助かっています。いつも、ありがとうございます。
	⑯ 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	19	1		
	⑰ 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	18	2		とても丁寧に対応して下さい、いつも助けられています。本人からの発信が十分でない部分も関係しているのですが、支援を求めずに、気持ちを押し込めることで、その場を凌ぐような場面が、月に数回あるようです。
	⑱ 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	6	7	7	
	⑲ こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	17	3		休憩を取らせて欲しいことや送迎先の変更等、いつも迅速に対応して下さいるので本当に感謝しています。
	⑳ こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	20			
	㉑ 定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	18	2		
非常時等の対応	㉒ 個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	20			
	㉓ 事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	15	3	2	
	㉔ 事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	19	1		
	㉕ 事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	17	3		
満足度	㉖ 事故等(怪我等を含む。)が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	20			
	㉗ こどもは安心感をもって通所していますか。	16	2	1	ちょっと本人が不安に思う出来事があったようです。
	㉘ こどもは通所を楽しみにしていますか。	15	4	1	プログラムによるようです。
	㉙ 事業所の支援に満足していますか。	19	1		

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		公表日				
とことこ戸塚教室		2025年 4月 28日				
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	17%	83%		
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、 職員の配置数は適切であるか。	50%	50%	・状況に応じて個室を使用している。	・活動内容によっては狭く感じる。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	17%	83%		・事業所の階段は急な角度に感じる。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	100%	0%		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	100%	0%	・状況に応じて個室を使用している。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	100%	0%	・振り返りで業務改善等の時間を設けて、職員全体で話し合って共通認識を持てるようにしている。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	67%	0%		・無記名（2名）
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	100%	0%	・振り返りで業務改善等の時間を設けて、職員全体で話し合って共通認識を持てるようにしている。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	67%	0%		・無記名（2名）
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	67%	33%		・法定研修は適切に行うことが出来ているが、支援力向上の研修機会は出来ていない。
適切な支援	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	100%	0%	・HPやHUGでの公表をしている。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	100%	0%		
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	100%	0%		
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	100%	0%		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	100%	0%		
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	100%	0%		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	83%	17%		・チームとして話し合い少ない時もある。

援 の 提 供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	100%	0%		
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	100%	0%		
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	100%	0%		
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	100%	0%		
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	100%	0%		
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	100%	0%	・ 児発管がモニタリング面談を行い、その内容を職員に共有している	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	100%	0%		
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	100%	0%	・ 子どもたちが内容に沿った自己決定を出来るように、声掛けや環境調整を行うようにしている。	
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	100%	0%		
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	50%	50%		
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	67%	33%		・ 保護者と下校時刻表を元に連絡を取るようになっているが、連絡ミスが生じている。
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	50%	50%		
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	50%	50%		
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	50%	50%		
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	67%	33%		・ 公園活動などで地域の児童との関わりの機会はあるも、定期的な機会の構築には至っていない。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	100%	0%		
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	100%	0%		
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	83%	17%		・ 保護者面談の機会を通して必要に応じたペアレントトレーニングを実施している。
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	100%	0%		・ 手紙等と併せて口頭での説明を行っている。
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	83%	17%		
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	100%	0%		

保護者への説明等	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	100%	0%		
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	100%	0%		
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	83%	17%		
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	100%	0%	・Instagramなどで発信することが行っている。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	67%	33%	・個人情報を慎重に取り扱っている	
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	67%	33%		
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に関わった事業運営を図っているか。	100%	0%		・地域交流PJとして他施設等との交流を行っている。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	100%	0%		
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	100%	0%		
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	100%	0%		・保護者との面談を通して、必要な情報のヒアリング等を行っている。
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	50%	50%		・よくわからない。 ・保護者からのヒアリングを行うと共に必要な情報の確認を徹底している。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	100%	0%		
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	100%	0%		
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	100%	0%		・一日の振り返りの時間に事業所内での共有を行い、シートに内容と対策等を残している。
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	100%	0%	・振り返りの時間等を使って、気になる点について確認するようにしている。	
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	100%	0%		

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後等デイサービスとことご戸塚教室			
○保護者評価実施期間	2025年 2月 10日		～	2025年 2月 28日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	30	(回答者数)	20
○従業者評価実施期間	2025年 2月 10日		～	2025年 2月 28日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数)	6
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 4月 14日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的にやっている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・子どもの特性に応じた専門性のある対応を職員全体で共有を図っている。	・個々の感覚で対応するのではなく、統一した認識で対応が出来るように共有機会を設けている。また、専門的支援を通じて、集団支援だけでなく個別や小集団などで個々に合わせた支援が出来る環境を整えている。	・対応方法等で気になることやわからないことをすぐに聞ける環境を整えて、スムーズな周知徹底が図れるようにする。
2	・5領域を考えた月間の活動プログラムを策定している。	・活動のねらいを含めて子どもが意欲的に取り組める内容を工夫している。また、同じ内容の活動でも次回実施する際には前回の改善点を踏まえた調整を行っている。	・提示の仕方や環境調整など、子どもの状態等を踏まえた調整が出来るスキルアップを図る。
3	・日々の支援内容の振り返りと共に記録を残すことで、支援方法等の検証と対応方法の改善を行っている。	・支援後に活動内容や子どもの様子、職員の対応方法などを振り返り、改善点などを次に活かしている。	・振り返りで学んだ内容を実行することと共に職員全体の知識や技術向上のための機会を設けていく。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・ペアレントトレーニングやきょうだい児向けの活動など、ご家族や保護者の交流機会が少ない。	・保護者参観は実施していたが、保護者同士の交流機会や支援方法等の共有までは至っていなかった。	・日程等の調整と職員の知識や技術の向上を行う。
2	・放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会が少ない。	・公園活動などで地域の子どもと関わり、一緒に遊ぶ機会を作ることは出来たが、事前に計画をして実施することは難しかった。	・単発的な関わりではなく、継続的な関わりが作れるように近隣の関係機関等との交流を設ける。
3	・活動に合わせた教室内のスペース確保を行う。	・限られたスペースの中で実施できる事前準備が不足していた。	・スペース内で楽しめる活動設定と実施するための教室内の環境調整を行うことで、子どもの自己肯定感や意欲の向上に繋げていく。